

# 鉾屋町 町内会だより

1月16日  
資源回収

今年はじめての資源回収です。  
この日の午前3時ころ、津波  
警報で起こされて、眠れないま  
ま朝を迎えました。道路はほぼ  
全面圧雪路、気をつけながら歩  
きます。  
天気は悪くありませんが、気  
温が低いです。回収車を待つ間  
が長く感じます。



不定期発行

発行者  
鉾屋町町内会

編集/文責/撮影  
桂 汎用工房  
脇田 桂一郎

印刷  
小松総合印刷  
株式会社

今回は年末年始の感染拡大の  
懸念から、子供の児童生徒さ  
んは未参加。人手不足というほ  
どではありませんが、それなり  
に作業量は増えます。



皆様にお願ひしたいのですが、  
アルミ空缶を出す場合、  
・中身が残らないように、  
水でゆすいでいただきます  
・ゆすいだ水が、なるべく残ら  
ないようにしていただきたい  
の、2つがあります。



空缶は、袋に入ったままでは  
回収できず、袋から缶を出して、  
アリスさんの回収ケースに移し  
替える必要があります。  
その際に、中身や水が残ってい  
ると、それがこぼれて臭いや汚  
れなどが大変です。



また、ゆすいだ水が残っている  
と、気温が低い時、それが凍つ  
てしまいます。今回も凍って袋  
の中で固まってしまった空缶な  
どがありました。

次回の資源回収は3月13日を  
予定しております。ご協力をお  
願ひいたします。

## 町内会よりお知らせ

鉾屋町町内会では、町内会の  
役員および、町内の民生委員を  
募集しております。こちらもよ  
ろしくお願ひいたします。

我と思わん方は、ぜひご参加  
ください。



# 令和4年 盛岡市消防出初式



新春恒例の盛岡市消防出初式が、1月9日に行われました。

昨年は第一会場の式典が入場できませんでしたが、今年は大丈夫そうです。しかし当日は、朝早くからかなりの量の積雪があり、家の前の雪かきを2回してからでかけました。会場に着くまで中止になっていない心配でした。

盛岡城跡公園に到着くと、大勢の団員の方がいらっしやいました。一安心です。

統監である盛岡市長に敬礼。



後方の活動服姿の人は、市役所職員体験入団隊の方々。



失礼とは思いつつも、偉い方々の訓示や祝辞の間に移動して、撮影場所を確保します。天気が回復し、日も出てきました。



大きくは左が第一中隊、右が第二中隊。本来は3個中隊で行われるのですが、団員の間隔を空けるためと、広場に改修中である石垣の石材が保管しており、縮小しての編成だそうです。

第二会場である大通に移動します。分列行進が始まります。去年は中止となった、ラッパ隊が復活しました。



そして第一中隊第二小隊小隊長として先頭を行くのは、岡田勉 第2分団長です。(写真矢印上)





消防車の行進が続きます。  
恒例の第2分団ポンプ車。



最近の消防車は、赤色警光灯がLEDになっているため、点いてる時と、消える時が厳密になり、車両がきれいに写っていても、赤色灯が消えている写真になってしまふことがあります。それだと消防車の魅力減なので、そうならないよう祈っているのですが、今回は上手くいったようでよかったです。

今年も火災ゼロを目指すため、皆様の心掛けと、ご協力をお願いいたします。

### 懐かしの映画資料展 第2期

もりおか町家物語館 大正蔵2階で、昨年から行われていた「懐かしの映画資料展」が、1月7日より、展示内容を入れ替えた第2期が始まりました。今回のテーマは80年代です。



この頃は、私個人も一番よく映画館に行っていたころなので、実際にスクリーンで見たものや、題名やポスターを覚えていたものがたくさんありました。

当時の映画雑誌の付録とかも。



また前回に続いて、2期では岩手県内各地の、古い映画館の写真が展示されています。



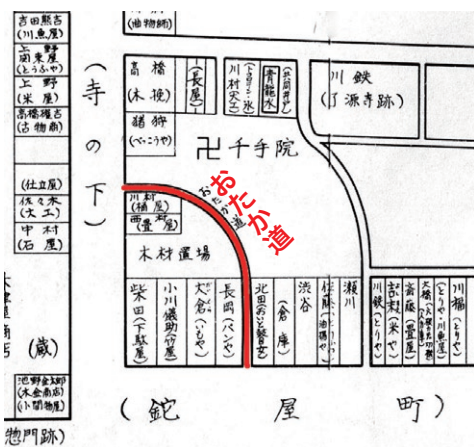
この資料展は今年の3月21日まで開催されます。

### 「おたか道」の 経路を考える

鉤屋町に、その道と名称が共に残る古道「おたか道」(御鷹道)。お聞きになったことがある方も多いと思います。

ただ、その道の経路が、本来どういうものだったかについて、私は以前から疑問を持っていました。

昭和49年から発刊された「もりおか物語」の1巻 惣門や、6巻 鉤屋町では、「鉤屋町の通りから入って、千手院の横を通り、寺の下に出る道」とされています。



出典・「もりおか物語」6巻を元に作成



たしかにそのような使い方をされていたことは間違いありませんし、実際に通った方も多いのではないのでしょうか。

ただし、厳密に言えばその経路は「道」ではなく、千手院さんの境内を抜け道として利用していたのであって、本来の「おたか道」とは違うと思うのです。

大慈寺小学校の辺りが谷地であつたことは知られています。旧かわつつ園の場所でセリが育てられていたことを覚えている方もおられるでしょう。この湿地帯が、南部のお鷹場の一部だつたのです。

そうなると、城下から惣門を抜けてお鷹場に向かうとすると、寺の下ではなく、青龍水側の方向へと行くのが自然だと考えられます。

現在でも残っている、千手院さんの南の角から、かわつつスパーさん裏、青龍水への小道が正式な「おたか道」の経路だつたのではないかと考え、いろいろと調べてみました。

平成2年発行 盛岡市編「もりおかの地名」では、この経路ではないか、と思われる記述が何箇所かありますが、文章での説明なので、いまいち確証が得られません。

### 古地図

地図出典…もりおか歴史文化館収蔵『寛延盛岡城下図』

1750年頃、江戸中期の盛岡城下図です。現在と同じ位置に道が通っています。



地図出典…もりおか歴史文化館収蔵『城下及近在図』



1860年頃、江戸後期の盛岡城下図、これも同じ位置です。

2つとも「道」としては、この位置にあることが確認できるのですが、名称の記載がないため、「おたか道」であるとの確定には至りません。

しかし千手院側には道の表示がありませんし、名が残る道であれば、やはりこの経路だつたのでは、と思っております。

最後に、法務局による現在の土地公図を掲載しておきます。



今でも、たしかに「道」として認められています。

それでもこの経路は、私個人の推定も含めたものなので、確かかどうかは分かりません。ご意見や情報がある方は、ぜひご連絡いただきたいと思ひます。

### 編集後記

1月29日のイベントを取材して、今号を完成させようと思つていたのですが、ほとんど中止になつてしまい、前々から鉈屋町で疑問に思つていたことを記事にさせていただきます。ご感想をお待ちしております。(桂)